

令和2年11月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
12/2(水) 午前	1	浅田 二郎	一問一答	3
	2	山田 貴子	一括	5
	3	村井 勝彦	一問一答	7
12/2(水) 午後	4	鈴木 弘睦	一括	8
	5	高木 清隆	一括	10
	6	竹野 昇	一問一答	11
12/3(木) 午前	7	木下 正	一問一答	13
	8	佐野 武次	一括	14

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	都市計画税について 地方税法第702条に規定された都市計画税の基本を明確にし、本市の都市計画税の方針・適用について尋ねる。 (1) 都市計画税の重い負担 (2) 都市計画税の性格 ア 都市計画事業に充当する目的税 イ 都市計画事業との関係 ウ 市税としても特殊な税 (3) 「市街化区域に課税し、市街化調整区域には課税しない」という課税区域 (4) 平成23年度から課税されるようになった旧浅羽町区域の事業について				市長
2	介護保険制度について 「介護の社会化」を目指し始まった介護保険制度は、20年を経過した。「保険あって、介護なし」という状況の改善がどうしても必要である。 (1) 保険料・利用料と介護サービスについて ア 被保険者の「高い・強制的」という声 イ 介護サービス利用が制限されている (ア) 負担の面から (イ) 給付の面から ウ 次期保険料について (2) サービス事業所の状況について				市長

質問順序	1	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	ア 事業所の経営状況は イ 人手不足の状況は				市長
3	コロナ感染症対策「地域経済の回復」施策について 「地域経済を回復させる」という取り組みのうち「ふくろいふるさと農産物応援」「住宅リフォーム助成」など直接事業者への補助でなく、間接的な支援事業の成果・問題点と今後について伺う。 (1) 取り組みの状況・結果は (2) ターゲット、周知の方法に問題はないか (3) 今後の対応は				市長

質問順序	2	議席番号	10	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>シティープロモーションの強化</p> <p>平成27年4月から市長公室において、地方創生に向けた総合戦略づくりとシティープロモーションに取り組んでいます。全国的にも知名度が低いことからシティープロモーションに取り組み、知名度アップに繋げています。「袋井市」の知名度を更に高めるために強化が必要ですのでお伺いします。</p> <p>(1) 「ラグビーワールドカップ2019」の日本対アイルランド戦で日本中が熱気と感動で沸き立った試合会場のある「袋井市」として、PRに役立っているのかお伺いします。</p> <p>(2) 毎年9月28日を「袋井のキセキの日」と定め「ラグビーワールドカップ2019」を契機に継続して袋井市として市民が参加できるイベントをやるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) 「市民インフルエンサー」の育成強化とその後の活動の現状を教えてください。</p> <p>(4) 「市民インフルエンサー」の活動につながる情報発信を支援すべきと思うが本市の見解を伺う。</p>				市長
2	<p>認知症行方不明者を減らす対策は</p> <p>高齢化に伴い、認知症が原因で行方不明になる人が増えている。去年は全国で約17,500人に上り、7年連続で過去最多を更新しています。そこでお伺いします。</p> <p>(1) 本市では、認知症が原因で行方不明になる人はどのくらいいますか。</p> <p>(2) 全体の9割余りを70歳以上が占め、所在が確認されたのが警察への届け当日に7割、99%は一週間以内に見つかっているというが本市の状況はいかがか。</p> <p>(3) 群馬県高崎市は、5年前から、認知症の人に持たせるGPSを家族らに無料で貸し出している。岐阜県大垣市は、2年前から行方不明者の情報を共有できるスマホのアプリ「オレンジセーフティネット」を導入している。認知症の人の衣服やバッグに貼るQRコード付きシールを配布する自治体も増えているようですが、本市の取り組みを伺う。</p>				市長

質問順序	2	議席番号	10	質問者	山田 貴子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
2	<p>(4) 2012年には、65歳以上の7人に1人が認知症だったが、2025年には5人に1人、700万人になるとの推計もある。一人で歩いている認知症の人を見かけた際に声を掛ける模擬訓練を実施し、声掛けの手引きを作り公開している市もあるが、本市はどのように認知症に対して指導しているのかを伺う。</p>				市長	
3	<p>いじめや不登校対策はどうしているか</p> <p>2019年度文部科学省は、認知したいじめは、過去最多を更新し、「重大事態」も最多だった。また、病気や経済的状況以外の理由で年30日以上登校していない小中学生も過去最多となったが、県内のいじめは、初の減少に転じたが、不登校は、小中学校の増加傾向は変わらず調査開始以降最多を更新したとのことですが、本市について問う。</p> <p>(1) 本市のいじめの認知件数は、2018年度と比べ2019年度は減少しましたか。結果をどう受け止め今後に生かしますか。</p> <p>(2) いじめの具体的な内容の中に会員制交流サイト（SNS）で、誹謗中傷に悩む人が増えていますが、本市の小中学校でも被害に遭う事例はありますか。</p> <p>(3) 不登校についても同様に、2018年度と比べ2019年度はどうでしたか。対策を考えていますか。</p> <p>(4) コロナ禍（今年度）での不登校でオンライン学習で出席扱いとしたケースはありますか。 今後の対策はどのように取り組みますか。市の考えをお伺いします。</p>				教育長	
4	<p>児童虐待認知</p> <p>静岡県警は、今年に入り認知した児童虐待は前年同期より増え、過去最多のペースで増えたことを明らかにしました。</p> <p>(1) 体罰が許されないものであることが法制化され、2020年4月1日から施行されました。この件について市民に広く周知させることと、同時に「いちやく（189）」『児童虐待かも---』と思ったらすぐダイヤル189に電話することの指導を徹底してほしいのですが、市の考えをお伺いします。</p>				市長	

質問順序	3	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	引きこもり、貧困、介護などの家庭問題に係る取り組み 引きこもり、貧困、介護などといった家庭の問題について縦割りの対応を見直し「断ることのない相談」に応じる体制の整備に向けて取り組む必要がある。 (1) 8050問題の課題解決に向けた対応は ア 本市における中高年の引きこもりの実態を把握しているか。 イ 8050問題をどのように認識しているか。 ウ 8050問題についてどのように支援しているか。 (2) 相談窓口の充実に向けての対応は ア 現状における家庭問題などの相談などは、どのような体制で行われているか。 イ 多岐にわたる相談を担当する人材の育成をするべきではないか。				市長
2	国本廃家電の処分に向けた取り組み 国本廃家電の問題については、平成28年度の行政代執行により廃家電の一部が撤去されたが、いまだ860トン余が防水シートで覆われ保管されている状態である。 (1) 国や県との廃家電の処分に関する協議の状況はどうか。 (2) 事業者及び所有者と処分等に関しての協議などは引き続き行われているか。 (3) 今後、廃家電の全量処分をどのように考えているか。				市長

質問順序	4	議席番号	6	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	火災への対応について 宇刈自治会連合会地区内において、不審火とみられる火災が連続して発生し、地域はもとより市民は非常に不安な日々を送った。今回の火災における市の対応を問う。 (1) 連続して発生した不審火に対してどのような対策を講じたか伺う。 (2) 火災被災者への支援制度について伺う。 (3) 火災の後、地域の声に対しての対応策を伺う。 (4) 消防団員に対し、謝意の声と共に活動への認識が更に深まった。市として消防団活動に対し、今後もどのように関わっていくのか伺う。				市長
2	地域内循環型経済の推進について コロナ禍にあってローカルイズムに注目が集まっている。このことは地方にとって大きなチャンスであり、持続可能な袋井を作るためには不可欠な要素だ。経済だけでなくヒト・モノの循環を活発化させ、経済面で強固な袋井をつくるために袋井市の考えを問う。 (1) 地域内循環型経済への見解を伺う。 (2) 袋井市の発注する事業や物品の購入などの程度が地元事業所へ発注されているか現状と考えを伺う。 (3) ふくろい応援商品券事業が 10月31日をもって使用期限を迎えた。事業を終えて市としての総括と見解を伺う。				市長
3	投票しやすい環境整備について 本年度8月1日から8月31日までの期間、袋井市議会の議会活性化特別委員会は、市内2校に通う高校生や市民等を対象にアンケート調査を実施した。その結果等から袋井市内の投票に関する利便性の向上や環境整備への必要性を感じた。投票に対する環境について袋井市としての考えを問う。 (1) 共通投票所の設置についての考えを伺う。				市長

質問順序	4	議席番号	6	質問者	鈴木 弘睦	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	<p>(2) 年齢階層別投票率から見ると、40代を境に投票率が高く、特に65歳以上が最も高い。そのことから投票所までの移動の支援策が必要ではないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 現在、市内では26箇所の投票所と2箇所の期日前投票所や各施設で不在者投票を行なっている。コロナ禍を鑑み、期日前投票や各投票時における対策について市としての考えを伺う。</p>				市長	

質問順序	5	議席番号	16	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	ふくろい茶の振興に向けて お茶については、袋井市の3大作物の1つと位置付け、振興を図ってきたが、リーフ茶の価格低迷や国内需要の減少等の消費面での課題が存在する中で、多様化する消費者ニーズへの対応が求められている。 (1) 新型コロナウイルス支援対策において、茶業界に対する国の支援策への申請状況と申請状況から見える課題について問う。 (2) 茶園農家・製茶会社を含めた、お茶の質の確保に向けた取り組みについて問う。 (3) 茶園農家・製茶会社から構成される生産組合の設立について問う。 (4) インバウンドマーケティングへの取り組みについて問う。 (5) 乗用型摘採機の導入に向けた農業基盤整備の推進状況と支援の在り方について問う。 (6) 自然災害等に備える農業保険制度への加入状況と課題について問う。				市長
2	緑の保全・創出に向けた取り組みに向けて 多岐にわたる農の効用をまちづくりに活かすべく、平成22年より『のびのび園庭グリーン事業』として園庭の芝生化に取り組むとともに、袋井市緑の基本計画も策定され、生活に身近な「緑」の保全・創出に取り組んできているが、それぞれに検証がされていない。 (1) のびのび園庭グリーン事業において、健康・環境・教育における効果と課題について問う。 (2) 健康・環境・教育上の効果を含め、小中学校においても校庭芝生化を進めるべきと考えるがどうか。 (3) 袋井市緑の基本計画に沿った緑の量の達成度と課題について問う。 (4) 袋井市緑の基本計画の見直しの時期と見直しの新たな視点について問う。 (5) 治水対策として、緑地の保全・創出による小規模・分散型の「流域対策」に取り組む考えはあるか。				教育長 市長

質問順序	6	議席番号	5	質問者	竹野 昇	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	憲法及び農地法等、法律に基づいた土橋工業用地開発計画の確認について (1) 地権者の同意が大前提、逆に言えば地権者の同意を得ることができなければ、農業振興地域の農用地区域の除外が不可能であり、事業が成立しないが、この事実を当局は認めますか。 (2) 建設経済委員会において、ある議員の質問に対し、「法律の活用を含めたさまざまな方法の検討も視野に入れながら」との答弁があった。法律の活用の中に、土地の強制収用が含まれているのか。 (3) 「法律の活用を含めたさまざまな方法」とは具体的にどのような方法を検討しているのか。				市長	
2	高齢者の居場所づくりについて 本格的な居場所づくりでなく、各自治会にある公会堂（集会所）をその町内の高齢者が利用しての手軽な居場所づくりを提案します。 (1) すでに地域のコミセンや公会堂などを利用して、居場所づくりがすでに行われていますが、もっとたくさん、高齢者の気軽な居場所づくりに各自治会の公会堂（集会所）を利用してはと考えます。市当局として、高齢者の気軽な居場所づくりを推し進める観点から、市広報の活用や自治会長会議の機会などを利用して、幅広く「高齢者の気軽な居場所づくり」の呼びかけをしていただけるのでしょうか。				市長	
3	高齢者の足の確保のため、デマンドタクシーの運行形態見直しについて 今後、超高齢化社会が到来し、運転免許証を自主返納する人が増え、高齢者の足の確保が極めて重要な政策課題となる。本市のデマンドタクシーは停留所型が多く、また行先も狭く限定され、利用者からは使いにくいとの声を聞いている。磐田市のように自宅に迎えに来てくれ、行先も地域内だけでなく市の各施設や市民病院など対象を拡大すれば、便利になる。 (1) 来年度の運行形態はすでに決まっており、私の運行形態見直し提案は、数年後先を考えている。袋井市として現状の運行形態がベストと考えているのか。それとも将来抜本的な見直しが必要と認識しているのか。 (2) 袋井市内タクシー会社2社が、デマンドタクシーの運行の免許を持っていないのが、大きな壁になっている。市として積極的かつ粘り強く2社に免許取得に向けて働きかける考えはおありでしょうか。				市長	

質問順序	6	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
4	<p>敬老会対象者の年齢引き上げについて</p> <p>現行では77歳以上が敬老会の対象者になっているが、人生100年時代＝超高齢化社会を迎え、敬老会の在り方の見直しが必要だと考える。70代で敬老を祝ってもらって、率直に喜ぶ人がどれだけいるだろうか。孫におじいちゃん、おばあちゃんと言われて、反発する人はいないが、市当局や地域の人に「敬老の仲間いり、おめでとうございます」と祝福され、喜寿のお祝いをもっても、複雑な心境になる。</p> <p>(1) 80歳以上を敬老会の対象者にしてはどうかと考えるが、市当局の見解を伺います。</p>				市長

質問順序	7	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》					答弁者
1	袋井駅南地区における新幹線南側のまちづくりについて (1) 新幹線南側の土地利用計画について ア 土地利用計画を定める必要があると考えるがいかがか。 (2) 新幹線南側の道路整備について ア 都市計画道路柳原神長線の今後の整備方針について伺う。				市長
2	地域公共交通について (1) 自主運行バス等の運行見直しについて ア デマンドタクシーの今後の運行見直しについて伺う。				市長

質問順序	8	議席番号	3	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	浅羽支所の利活用方策について 行政機能の集約化に伴い、浅羽支所の利活用方策の検討が進められ、素案の概要が企画政策課より示されたが、文化や子育てに係る支援施設の色合いが強いことから、現在は生涯学習課を主体に検討しているとのことであった。その理由や目的及び今後のスケジュール等について伺う。 (1) 主管課は、いつ、どのような理由で変更されたのか。また、その目的は何か。 (2) 主管課の変更後は、支所の再構築に向けて、どのような検討がされたのか。 (3) 報告を受けたスケジュールでは、本年9月に方針を決定し、設計に入る予定であったが、いまだ具体化されていない。遅れている理由は何か。 (4) 素案では主に文化や子育て支援施設が提案されているが、具体化された場合、浅羽支所施設の名称変更は考えているか。				教育長
2	農地利用に係る規制の状況と課題について 農業従事者の高齢化、後継者不足から、優良農地でも耕作放棄地が見受けられる。農用地などの区域の見直しが必要な時期に来ているのではないか。また、白地帯は開発が厳格に規制されているが、耕作放棄地が増える中、この現状を、どのように捉え、今後、どのように対応していくか。 (1) 農用地区域外の白地帯農地で、開発が規制されている農地の耕作放棄地の実態をどう把握しているか。 (2) 白地帯農地の第1種から第3種に指定されている区域では、どのような場合に開発が可能となるのか。 (3) 今後、高齢化や後継者不足により増加することが想定される耕作放棄地への対応について、どのような対策や支援を行っていくのか。				市長
3	企業の国内回帰等への対応について 新型コロナウイルス感染症の拡大により、企業の国内回帰や都市部から地方への移住が進んでいる。こうした動向を捉え、産業振興や雇用の確保につなげることが求められる。これらの受け皿を確保するため、土地利用規制の緩和などについて検討を進め、まちの活性化につなげることを提案する。				市長

質問順序	8	議席番号	3	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
《一括》					
3	<p>(1) 企業の製造工程の「国内回帰」やICTの活用による新しい働き方などの動きをどう捉え、どのように対応していく考えか。</p> <p>(2) 企業等の国内及び都市部から地方への回帰の受け皿を確保するためには、現行の土地利用規制を緩和することも必要と思うが、どのように考えているか。</p>				市長